

萬古陶磁器工業協同組合

～未来を創る「やきものたまご創生塾」～

実施年度 令和3年度

事業名 後継者育成事業（若年層等後継者創出育成）

工芸品

四日市萬古焼（三重県）

指定の内容

<https://kougeihin.jp/craft/0410/>

産地の課題

雑誌等のメディアに取り上げられ知名度が向上しつつある【萬古焼】だが、脚光を浴びる裏側では職人の高齢化や毎年退職があり年々生産能力の低下がみられる。

産地活性化のためには、注文や引き合いに対し十分に応えられるだけの生産能力の維持・拡大が必要不可欠であると考え、後継者の育成を優先的に行うこととし、研修事業「やきものたまご創生塾」を実施している。

=メッセージ=

「やきものたまご創生塾」

令和5年度研修生募集

やきものたまご創生塾は、一人ひとりの能力を最大限に伸ばし、業界に貢献できる人材を育てます。



▶ 募集情報はこちら→

<https://banko.or.jp/yakitama.html>

補助事業の内容

▶ 実習研修

ロクロ成形実習



陶磁器の製造に必要な不可欠なロクロ技術はもちろんのこと、デザインや展示方法等の研修も実施しました。講師の謝金・旅費は補助金を活用しました。

▶ 他産地研修



視野を広げ、産地に新しい風を吹かせられる人材の育成を期待して、他産地研修を実施しました。

デザイン実習



具体的な手法

～周囲の協力を得た研修事業～

国からは補助金を、三重県からは研修場所（窯業研究室）や研修講師の協力を受け、萬古陶磁器工業協同組合が運営をする、まさに産官協働の事業です。陶芸作家や組合企業からも実習講義の協力を得て、質の高い座学・実習講義を可能とし、短期間で育成効果の高い研修を160日実施できました。

～実践的な実習研修～

研修終了後には即戦力として活躍することが期待されます。そこで、陶芸作家の松本氏（赤部焼陶房）に講師を依頼し、より現場作業に近い実践的な技術習得を目指して企業内研修を行いました。いち早く萬古焼「職人」として活躍してもらえるよう、企業内研修では成形や絵付け等の実習指導をしました。

～事業資金の確保～

研修事業の資金繰りは、国・自治体の補助金、組合の自己資金、研修生から入学料をいただき運営しました。組合の支出はありますが、「後継者育成」が喫緊の課題であることは産地内で合意形成がなされており、本事業への支出もスムーズに行われました。

～補助金の成果～

令和3年度は、当初応募のあった3名全員が計画した技術を習得することができました。研修終了後、2名は産地企業に就職し新天地で活躍しています。また、平成19年度から令和3年度までに57名の修了生を輩出し、約9割が産地企業に就職しています。